

1人の小さな挑戦は いつか誰かの夢になる

01 あらゆる産業の活性化。
声を聴き、届ける。
産業は福祉の糧。



現場の声を丁寧に聴き届け、地域産業を支え、福祉の基盤となる経済を強くします。

03 防災減災。
命を守る。



災害から命を守る仕組みを地域の実情に合わせて整備します。

05 全員参加型の
社会をつくれます。



障害があってもなくても、共に生きられる共生社会を実現します。

02 物価高対策。
皆さんの声を国に。



生活の負担を軽減するため、皆さんの切実な声を国政へ確実に届けます。

04 新潟県の
拠点性の向上。



特に新潟1区は空港、港湾、高速、駅、世界遺産が揃い、ここの活性化なしに新潟県の活性化はないと考えます。

06 拉致問題。
時間がない。



時間が残されていないとの強い危機感を持ち、解決に向けて積極的に行動します。

ごあいさつ

内山航と申します。私はどこにでもいる普通の子ともでした。勉強はそこそこ。特に青春時代にこれに打ち込んだ！という自慢できるものもなく、おとなしい、目立たない生徒だったと思います。運動は小学校から野球部に所属し、一生懸命やってきましたが、高校の時に退部。当時の監督から「1度の挫折は2度3度の挫折を生むぞ」と言われ、以来、諦める前にこの言葉を思い出すようになりました。市議を続けながら新聞配達が10年続いたのも、SNSの更新が2000日以上欠かさず続けられているのも、あの時の監督の言葉があったからです。大学卒業後、長岡市のパチンコ店で勤務していた時に、大学時代の先輩から政治の世界に誘ってもらったことをきっかけに、この世界に入りました。当時24歳。あれから20年。落選も経験しました。新聞配達も10年間やってきました。新潟市議会議員約10年の経験の中で、地域に密着して様々な声を聴き、市や県や国に届け、形にできたものも、できなかったものもあります。今の新潟は国へのパイプがとても細くなっている声を届けにくい状況です。これを何とかしなければ、という思いが日に日に強くなっていきました。

プロフィール

- ・1981年6月11日生まれA型
- ・内山写真館(イタリア軒写真室)の長男として生まれる
- ・妻・子供4人(上の子供達はすでに独立し、現在4人家族、孫2人)
- ・趣味:温泉、ドライブ、サウナ
- ・好きな食べ物:カルボナーラ、硬いリンゴ
- ・信条・モットー:「実があるなら今宵 一夜明ければみんな来る」
「今日もきっと、いいことがある」

■主な経歴

愛泉幼稚園・上小小学校・鳥屋野中学校・新潟江南高校を卒業後
新潟大学経済学部経営学科卒業
会社員・国会議員秘書(約10年)・新聞配達(約10年)等を経て
・2015年/新潟市議会議員に初当選(34歳)
・附属新潟中学校 父母教師会 会長
・新潟信濃川ライオンズクラブ 会長
・新潟青年会議所 専務理事
・2023年/新潟市議会議員に3期目の当選
・2025年/自由民主党新潟県第一選挙区支部 支部長に選出

■現在の所属等

- ・自由塾 IKINUKI 塾長
- ・宮浦中学校PTA会長
- ・新潟江南高校 同窓会・後援会 副会長

【 比例代表も 自民党へ 】



自民党公認
内山こう